

第 2 章

架け橋期の子どもの姿と指導のポイント

第2章では、5歳児から小学校1年生のそれぞれの時期における「ねらい」、「育成を目指す（育みたい）資質・能力」、「指導の重点」、「家庭との連携」、「多様な育ちへの配慮」を項目ごとにまとめました。見開き頁にまとめて記載してあることで、幼稚園・保育所では、現在の子どもの姿から小学校の学習活動を通して成長していく子どもの姿等が分かります。小学校では、幼稚園・保育所において、子どもたちが遊びや生活を通してどのように学び育てきたかを理解する手助けになります。

【例 5歳児】

【ねらい】

各時期のねらいを記載しました。
ここに記載している時期は目安であり、一人一人の発達や学びの状況には個人差があることに留意して、子どもの発達や学びの状況に即した適切な指導が大切です。

【「幼児教育（または小学校教育）において育みたい（育成を目指す）資質・能力」】

子どもの姿を三つの柱ごとに整理しました。
5歳児は、関連する5領域を表示しています。

進級の喜びを感じ力を発揮しようとする時期	
4~5月	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境に主体的に関わり、関心をもった様々な遊びに取り組む 自分なりに関心をもったことや友達や保育者との関わりをきっかけに、クラスのつながりを感じる 進級の喜びを感じ、年長児としての生活に意欲的に取り組もうとする
知識および技能の基礎	<ul style="list-style-type: none"> 様々な素材や仕組みなどの面白さを感じる 新しい用具や教材と出会い、扱い方を知る 様々な体の動きや身のこなしを楽しみ、自分なりにやってみる 新しい環境に関わりながら、安全な使い方など必要なことに気付く
思考力、判断力、表現力の基盤	<ul style="list-style-type: none"> イメージやめあてに向かって、材料や用具を選び、実現しようとする 様々な素材の感触を楽しんだり、その特性に気付いて試したりする 思いや考えを、自分なりに相手に伝えようとする 言葉などで表現したことが、友達や先生に伝わる喜びを味わう
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 興味をもったことや不思議に思ったことに関わり、知ろうとする 新しい環境や年少の幼児に関わる中で、年長児としての喜びや自覚をもつ 友達と取り組む遊びや活動の楽しさを感じ、一緒に進めようとする
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> 進級の喜びに共感したり、新しい環境に戸惑う姿を受け止めたりしながら、それぞれが、安心して新しい生活に取り組みできるようにする 使い慣れた道具や用具を準備し、主体的に環境に関われるようにする
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> 進級による喜びや不安など保護者の思いに共感し、園での幼児の様子を具体的に伝えながら、一緒に幼児の成長を支えようとする 年間園生活の流れや内容、幼児の育ちを具体的に伝え、年長の1年間や就学に向けての見直しをもてるようにする
多様な育ちへの配慮	<ul style="list-style-type: none"> 個別の支援が必要な幼児について、昨年度までの状況や今後の方向について園内で共通理解を図り、個別指導計画等を作成する 新しい環境にそれぞれのペースで慣れていけるように、個々の興味、関心を生かした環境構成や支援を工夫する

【指導の重点】

架け橋期の指導の重点は、幼児期から小学校就学以降の育ちの連続性を意識して指導を行う参考になります。

【家庭との連携】

【多様な育ちへの配慮】

本区の教育施策の重点でもある「家庭との連携」「多様な育ちへの配慮」に視点をあて、架け橋期の教育におけるポイントを記載しました。

架け橋期の子どもの姿と指導のポイント

	5 歳児				小学校 1 年生			
	進級の喜びを感じ力を発揮しようとする時期	自身の力を発揮し互いのよさを受け入れ合う時期	友達と力を合わせて生活や遊びを進めていく時期	自身の成長を感じ就学への期待をもつ時期	新しい場所での生活に不安と期待をもって新しい生活をスタートする時期	経験や体験をもとに、より主体的・自覚的な学びに向かう時期		
	4～5 月	6～9 月	10～12 月	1～3 月	4 月～5 月上旬	～7 月	～3 月	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境に主体的に関わり、関心をもった様々な遊びに取り組み 自分なりに関心をもったことや友達や保育者との関わりをきっかけに、クラスのつながりを感じる 進級の喜びを感じ、年長児としての生活に意欲的に取り組もうとする 	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりに目的をもって、考えたり、工夫したり、試したりしながら取り組む楽しさを感じる 友達とのつながりを感じ、思いを伝えながら遊びを進める 年長児としての生活の仕方が分かり、自分たちで必要なことを進めようとする 	<ul style="list-style-type: none"> 課題に向かって取り組み、力を発揮する喜びや満足感を味わう クラスやグループで共通の目的に向かって遊びや生活を進めようとし、力を発揮する喜びを感じる 自分たちで生活に必要なことに気付いたり、考えたりして、一緒に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりの目的や課題をもって、試したり、工夫したりしながら達成する喜びを味わう 友達と共通の目的に向かって取り組む中で、互いのよさや持ち味を受け入れ合う 卒園や就学を意識しながら、クラスのつながりを感じ、自分たちで生活を進めていこうとする 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校への期待をもって登校し、話を聞いたり見たりしながら安心して過ごす 先生や友達の顔や名前を憶えて身近な人と楽しく関わろうとする 学校生活に必要なきまりや約束を少しずつ覚えながら、小学校生活を安心して過ごす 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の仕方や授業のリズムが分かり、進んで学習に取り組もうとする 先生や友達、上級生の顔や名前を数多く憶えて、自分から関わろうとする 学校生活に必要な手順やきまり、約束を確認しながら、小学校生活を楽しく過ごす 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れ、規律が分かり、自分の考えをもちながら主体的に取り組もうとする 先生や友達、上級生と、適切に関わる→（1 年生後半）感謝をもって関わろうとする 学校生活の約束を守り、友達と関わり合いながら楽しく過ごす 	
知識および技能の基礎	<ul style="list-style-type: none"> 様々な素材や仕組みなどの面白さを感じる 新しい用具や教材と出会い、扱い方を知る 様々な体の動きや身のこなしを楽しみ、自分なりにやってみる 新しい環境に関わりながら、安全な使い方など必要なことに気付く 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な素材や材料の使い方が分かり、遊びに取り入れる 水遊びや泥、絵の具など、季節ならではの素材に繰り返し取り組み、その特性を味わう 汗を拭く、水遊びなどで着替えるなど、状況に応じた行動に気付き取り組む 大まかな 1 日の生活の流れを意識しながら自分たちで使った場や遊具を片付け、整える 	<ul style="list-style-type: none"> 用途に応じてものを選択したり、素材の特性を生かして扱おうとしたりする 遊びや生活の中で、文字や数字、図形や標識などに関心を持ち、自分なりに扱おうとする 様々な運動遊びを楽しみ、競い合う面白さを味わう 園生活や遊びの中で、必要なルールやきまりがあることに気付く 園外保育や地域に出かける機会を通して、交通ルールや公共のマナーを知る 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの経験を思い返して、自分たちでものや場、用具や方法などを選んだり取り入れたりする 状況や場面、相手に応じた言葉を使おうとする 多様な体の動きに取り組み、挑戦する 活動に合わせてルールを考えたり変更したりしながら、自分たちで遊びを進める 園生活の中で、今は何をすべきかを自分なりに分かり、状況に応じた行動をとる 	<ul style="list-style-type: none"> 学習や学習対象（文字や数字）に関心を持ち、楽しく学習に取り組む また、そこで喜び、考え、気付いたことを、友達や先生に伝えるように表現する。表現する楽しさを味わう。 学校生活や学習に用いる言葉を知り、使おうとする 正しく鉛筆を持ち、文字や数字の読み書きをする 	<ul style="list-style-type: none"> 入学前の経験と比べたり、教えられたことと合わせて考えたり確認したりしながら、楽しく学習に取り組む 身近な環境や学習対象、先生や友達と積極的に関わり合い、知っている文字や言葉を使って、関心をもったことや気付いたことを場面にに応じて楽しく伝え合う 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを伝えたり、友達の考えを受け止めたりして、よりよい学びにつなげる 様々な手法、技法を学んだり、友達と見合ったりして、自分で選んで表現する（文字、絵、歌、動作など） 	
想像力、判断力、表現等の基礎	<ul style="list-style-type: none"> イメージやめあてに向かって、材料や用具を選び、実現しようとする 様々な素材の感触を楽しんだり、その特性に気付いて試したりする 思いや考えを、自分なりに相手に伝えようとする 言葉などで表現したことが、友達や先生に伝わる喜びを味わう 	<ul style="list-style-type: none"> 身近なできごとや自然現象などに興味をもち、考えたり、調べたり、確かめたりする 様々な素材を組み合わせ、自分たちで工夫して扱う楽しさを味わう クラスの友達と歌や手遊び、ダンスなどを通して、声や動きが合う心地よさや喜びを感じる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のイメージや考えを、材料や方法を選び工夫して表現する 遊びに必要なものの数や量、場やその広さ、人数など、自分たちなりに考えて進めようとする 経験したことや感じたこと、考えたことなどを、体の動きや音、リズムや造形などの様々な方法で表現することを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 疑問に思ったことや予想したことを友達と試したり、さらに自分なりに考えたり調べたりする 続き話や物語の読み聞かせなどを通して、想像する楽しさをクラスの友達と共有する 友達との関わりの中で、自分の思ったことを相手が分かるように伝えたり、相手の思いを受け入れようとしたりする 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活でのきまりを知り、守る よりよい学級づくりのためにめあてを考える 良いことや悪いことが分かり、正しい行動に移そうとする 友達と嫌がることなど、してはいけないことはしないようにする 幼児期に育まれた文字や数、自然や社会生活への興味、関心を生かし、自分の体験と結び付けて感じ、想像したことを友達と伝え合う 	<ul style="list-style-type: none"> 善悪の判断がつき、自分の気持ちを調整したり、振り返ったりする 様々な人と関わり、めあてに向けて、協力し合う 当番や班での活動などで自分の役割が分かり、判断し、行動する 身近なことや経験したことを順序だてて考え、内容のまとまりがわかるように書く工夫をする 動物・植物などに関わることで、命を感じ取り、その大切さに気付き、生活に生かそうとする 	<ul style="list-style-type: none"> 正しく判断し、行動に結び付けたり、振り返ったことを次に生かしたりする 自分の役割を理解し、進んで行動に移し、新たな活動につなげることができる 新しく学ぶ漢字や表現方法を使い、気付きや自己の考えを表現する 	
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 興味をもったことや不思議に思ったことに関わり、知ろうとする 新しい環境や年少の幼児に関わる中で、年長児としての喜びや自覚をもつ 友達と取り組む遊びや活動の楽しさを感じ、一緒に進めようとする 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と遊びを進めていく中で、イメージが共通になっていく楽しさを感じる 自分の思いや考えを表し、それが相手に受け止められる喜びを感じる 自分とは違う考えや思いがあることに気付き、受け入れようとする 当番活動や片付けなど数人の友達と一緒に、役割を分担して取り組む方法を知り、やってみようとする 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な運動遊びなどの中で自分の力を発揮する喜びやチームの連帯感を味わう 友達とイメージや目的を共有し、一緒に遊びを進めていく楽しさややり遂げた満足感を味わう 自分の考えや思いを相手に話し、相手の反応や応答を受け止めようとする クラスの友達と共通の目的に向けて力を発揮し、気持ちを合わせる喜びやつながりを感じる 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と共通の目的に向かって考えを出し合うことで、遊びがより面白くなったり、課題を乗り越えたりする喜びを味わう 園生活に見通しをもち、自信をもって取り組む 卒園に向けての振り返りなどを通して、経験したことや感じたことなどを伝え合い、共感する喜びを味わう 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のことは自分で行おうとする（登下校、学習の準備、着替え、食事） 学校の生活時程に慣れようとする（学習、休み時間、給食、行事等） 卒園と仲良く関わり合う 小学校生活や学習への興味、関心を広げ、探究しようとする 	<ul style="list-style-type: none"> 時間を意識しながら、自分のことは自分で行い、困ったときには大人に相談する 友達と共に活動したり、助け合ったりする 先生や友達の提案したことにも興味をもって最後まで取り組もうとする 	<ul style="list-style-type: none"> 活動に粘り強く取り組み最後までやり遂げる 見通しをもって準備をしたり、管理をしたりすることができる 相手の気持ちを聞き、適切な行動をする 集団のルールを理解し、安全面を配慮した行動ができる 	
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> 進級の喜びに共感したり、新しい環境に戸惑う姿を受け止めたりしながら、それぞれが、安心して新しい生活に取り組めるようにする 使い慣れた遊具や用具を準備し、主体的に環境に関われるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 意見がぶつかったり、葛藤を感じたりする場面を通して、相手の思いに気付けるように、それぞれの感情を受け止め、支えていく 水遊びやプールなど季節ならではの遊びを十分に楽しめるように、安全に配慮した環境設定や保育者間の連携を図る 	<ul style="list-style-type: none"> クラスやグループで力を合わせたり、競い合ったりする経験の中で、様々な感情に寄り添いながら、個々に力を発揮できるように支えていく 1 日や週など大まかな見通しをもてるように、カレンダーなどで分かりやすく伝える 	<ul style="list-style-type: none"> クラスやグループの中で、一人一人が十分に力を発揮し、協同して進められるような機会をつくり、つながりを深めていく 小学校との交流活動など、就学に向けて安心感や期待をもてるような機会をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児期の経験を生かしながら、慣れ親しんだ遊びや活動を行い、児童が前向きに 1 日を過ごせるよう、1 日の流れや過予定を計画する 児童の発達や学びには個人差があることを踏まえ、安心して発言したり、挑戦したりして失敗できる環境を整える 	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で見つけた疑問を解決したり、児童のつばやきを大切にしながら、児童の学び意欲を高めていく 自らの思いや願いの実現に向けた活動を、ゆとりのある時間の中で育み、人間関係を豊かに広げていく 	<ul style="list-style-type: none"> 集団生活を通して、学校の公共性に目を向け、学校の施設はみんなのものであることや、みんなで快適な学校生活を送るためのきまりやマナーがあることに気付かせる 具体的な活動や体験を通して、児童が自分で発見したり、疑問に思ったことを、近くの友達や先生に伝えたり、表現したりして、他教科の学習につなげていく 	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> 進級による喜びや不安など保護者の思いに共感し、園での幼児の様子を具体的に伝えながら、一緒に幼児の成長を支えていくという姿勢を示す 1 年間の園生活の流れや内容、幼児の育ちを具体的に伝え、年長の 1 年間や就学に向けての見通しをもてるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 園での具体的な姿を伝えたり、家庭での様子を聞いたりして、共に幼児の成長を温かく見守っていきけるよう細やかに情報共有する 友達との関わりの中で経験していることやその中で育まれる内容について理解し合えるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 行事の取組では、一人一人の園での姿を丁寧に伝え、幼児の成長を認めてもらえるようにする 就学に向けての保護者の不安や心配を受け止めつつ、幼児が就学への期待をもてるような家庭での対応を具体的に依頼する 	<ul style="list-style-type: none"> 個人面談などの機会に、それぞれの成長や課題について話し合い、就学に向けて保護者と共通認識をもつ 近隣の校長先生の講話を聞く機会をつくるなど、保護者の就学に向けての不安や疑問を解消できるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校生活が「ゼロ」から始まるのではないことや、徐々に慣れていこうなスタートカリキュラムを組んでいることを保護者会や学年だよりなどで伝え、保護者の不安や疑問を解消できるように努める 学校の生活リズムに慣れることや学習準備についての協力を依頼する 	<ul style="list-style-type: none"> 学校での様子を保護者に知らせるとともに、家庭訪問や学年だよりなどを活用して、児童が学校生活へ概ね馴染んでいるのか、機会を捉えて、家庭での様子を尋ねる 保護者会、個人面談を設定し、学校生活の様子を伝え、よさや課題について共通理解をする 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会、個人面談を年数回設定し、よさや課題についての進捗状況を確認する 日々の家庭学習を活用し、子どもの学習状況を把握してもらったり、親の家庭での様子を把握したりする（連絡帳、音読カード、漢字学習、プリント、テスト類など） 保護者向け情報伝達サービスを活用し、全体周知や個人連絡を行う 	
多様な育ちへの配慮	<ul style="list-style-type: none"> 個別の支援が必要な幼児について、昨年度までの状況や今後の方向について園内で共通理解を図り、個別指導計画等を作成する 新しい環境にそれぞれのペースで慣れていけるように、個々の興味、関心を生かした環境構成や支援を工夫する 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の特性を見極め、クラスの一人一人として受け止め合えるような支援を工夫する 療育機関の訪問支援や、就学相談、特別支援学級の学校見学など必要に応じて関係諸機関や家庭との連携、情報共有を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 行事に向けての個別支援の方向や具体的な内容を園全体で共有する 就学相談や就学時健診での情報を共有しながら、保護者の意向を聞き取り、必要に応じて就学支援シートの準備を進める 	<ul style="list-style-type: none"> 園生活を十分に楽しみ、それぞれが満足感をもって卒園できるように、成長や変容を具体的に伝え認めていく 就学に向けて幼児や保護者の不安に寄り添い、期待を高められるよう、就学支援シートや各学校との交流・連絡会などによる連携を密に行う 	<ul style="list-style-type: none"> 個別の支援が必要な児童については、新しい環境に適応できるよう、教室環境の整備や児童や保護者が相談しやすい体制を工夫する 児童の実態を把握する際は、園との引き継ぎに加えて、発達の程度、適応の状況、各教科等の学習状況等を踏まえ、必要に応じて、校内委員会を設定し、学校全体で該当児童の教育的ニーズを共通理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の教育的ニーズの変化に応じた適切な教育を行うために、保護者との個別相談を継続的に実施し、共感的理解に努める 特別支援コーディネーターを中心に支援や指導の方向性を共通理解し、記録を積み重ねる 複数の立場から児童のアセスメントを行い、必要に応じて、個別指導計画および学校生活支援シートを作成し、スクールカウンセラーおよび教育相談等の関係機関につなげる 		